

リデュースが大切

皆さんは、3Rを知っていますか？

リデュース、リユース、リサイクルのことです。リサイクルは皆さん知っていると思います。そのリサイクルのことについて説明していきたいと思います。

(どのようにリサイクルされているのか)

アルミ缶

缶ジュース、缶ビール、缶づめなどの缶のうち、アルミニウムでできている缶をアルミ缶と言います。アルミニウムの性質は軽く柔らかいことです。

そのため、

- ・炭酸飲料、ビールなどの炭酸入りの飲み物の缶
- ・お茶、ジュースなどの飲み物の缶
- ・魚などの缶詰の缶

などに使われています

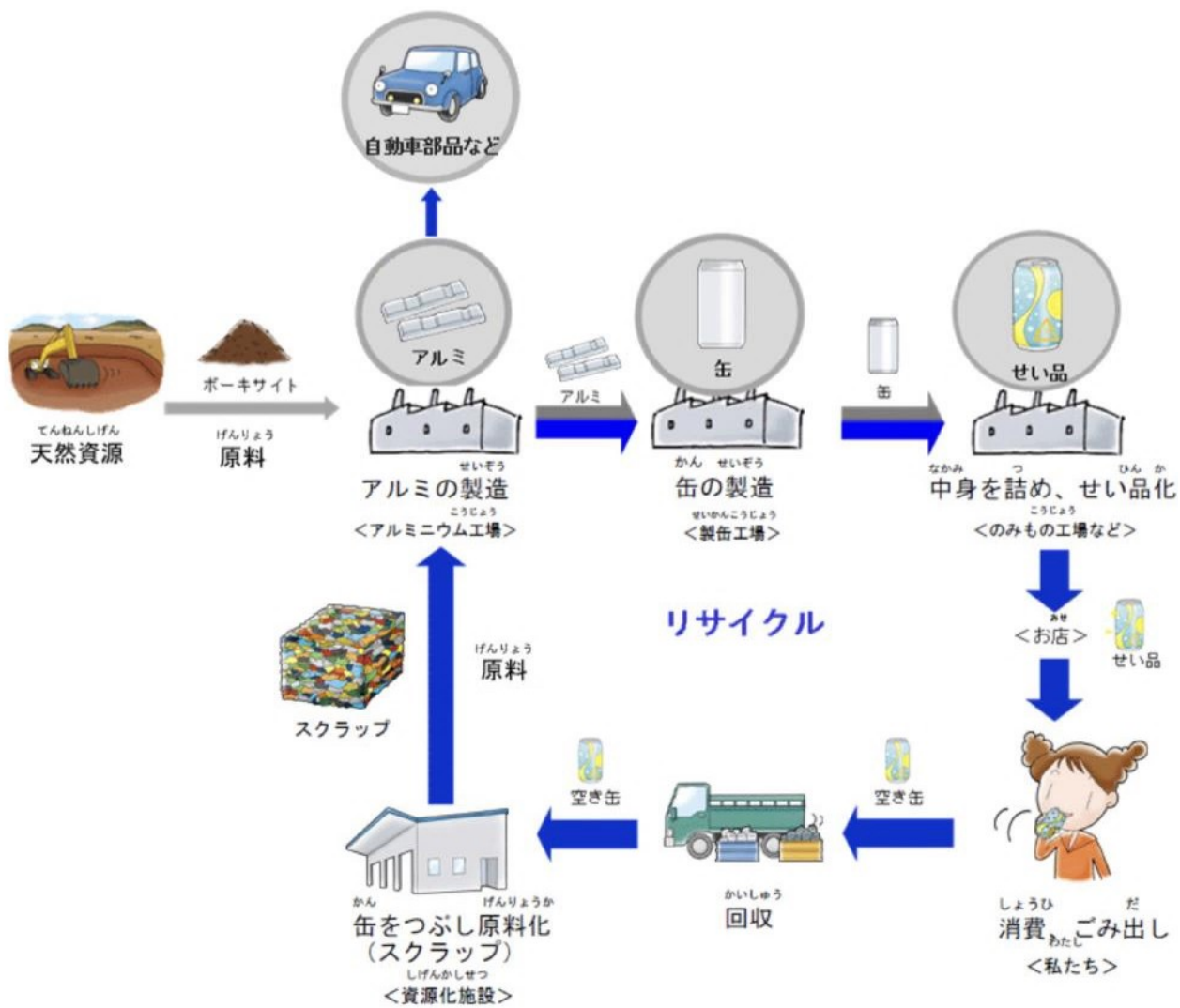
アルミ缶マーク

飲み物用のアルミ缶には法律で決まったデザインの「アルミマーク」がついています。缶詰用のアルミ缶には会社が自主的に「アルミ缶マーク」つけています。



アルミ缶のリサイクル

- 1、ルール守り、資源ゴミとしてゴミ出しする。
- 2、集団回収に出す。
- 3、お店や駅などの回収ボックスに入れる。
- 4、ポイ捨てをしない。



回収されたアルミ缶は1000個以上まとめて押しつぶされて、アルミニウムの原料(アルミ缶スクラップ)となります。その後、アルミニウムを作る工場に運ばれ、高温で溶かされ、アルミ缶やさまざまなアルミ製品に生まれ変わります。

どのくらいリサイクルされているのか

使われたアルミ缶の**95%**が**リサイクル**されています。(2012年度)

何にリサイクルされているのか

回収されたアルミ缶の約70%は再びアルミ缶に生まれ変わります。残りは自動車部品などになります。なお、リサイクルされたアルミニウムは、アルミ缶の銅（ふた以外の部分)に使用されます。



リサイクルの効果

アルミ缶 1 k g (500ml×50個)をリサイクルすると埋め立てする場合に比べて次の効果があります。

- ・ どれだけエネルギーの使用量が減るのか 原油換算 2.5リットル
- ・ どれだけ二酸化炭素が減るのか 二酸化炭素 8.5 k g

リサイクルの仕組みと役割

1、市町村の回収

- ・ 私たち：分別してゴミ出し
↓
- ・ 市町村：回収。余分なものを取り除き、同じ種類に分ける
↓
- ・ リサイクル業者：市町村から受け取り、もう一度資源に戻す
※びん、ペットボトル、プラスチック容器などは、それを作ったり使ったりした
会社がリサイクルのお金を支払います。
↓
- ・ 会社：資源から様々な製品を作る

集団回収

- ・ 私たち：分別してゴミ出し
↓
- ・ 地域：回収
↓
- ・ リサイクル事業者：余分なものを取り除き、同じ種類に分ける
↓
- ・ 会社：資源から様々な製品を作る
↓

お店などの回収（家電4品目(エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機)の場合)

- ・ 私たち：買い換える時などに、お店に引き渡す
↓
- ・ お店：受け取ったあと、家電4品目を作った会社に渡す
↓
- ・ 家電4品目を作った会社：もう1度資源に戻す
資源として売ったり、資源から様々な製品を作る。
※国決まりにより家電4品目の会社が自分の製品をリサイクルする
とになっています。

ここまで、リサイクルについて説明してきましたが、

実は、3Rの中で、最も優先してほしいのがリデュースなのです

↓ なぜなら・・・



リデュース

無駄なゴミの量をできるだけ少なくすることです。ゴミをリユースしてもリサイクルしても、ゴミの処理にかかる費用とエネルギーは必要です。そのため、できるだけ、「もの」が「ゴミ」になることを抑えるリデュースが大切です。

リユース

一度使ったものをゴミにしないでもう一度使うことです。リユースより、「燃やす」、「埋め立てる」、「リサイクルする」などの、ゴミの処理の量を減らすことができます。



リサイクル

使い終わったものをもう一度資源に戻して製品作ることです。私たちが使い終わったものを分別してゴミ出しすると、もう一度資源に戻す仕組み(リサイクルルート)に載せることができます。その分、ゴミを燃やす量と、埋め立てる量を減らすことができます。リサイクルは多くの人たちの協力で成り立っているのです。

心がけ順番

- 1 リデュース
- 2 リユース
- 3 リサイクル

提案

リサイクルやリユースも大切だけどまずは、リデュースをいつも心がけてほしいです。

(私たちにできること)

- ・無駄なものは買わない、貰わない。
- ・買い物をするとき、ゴミとなる量が少ない製品、食品を買う。
- ・ものは大切に長く使う。
- ・買った食品は無駄なく料理する。
- ・食べ残しをしない。
- ・マイボトル、マイカップを使用する。
- ・不要となったおもちゃ、衣類、家具、電気製品などは、必要とする人に譲る。
- ・何度も利用できるガラスビン容器が使われている製品を選び、中身がなくなったらお店に返す。
- ・フリーマーケットやリサイクルショップを利用してみる。
- ・古紙、びん、缶、ペットボトル、プラスチック容器などは市区町村の決めたルールを守って分別してゴミ出しする。
- ・古紙、使い終わった衣類などは集団回収に分別して出す。
- ・使い終わった家電4品目(エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機)、パソコンなどは、お店や製品を作った会社に引き取ってもらう。

感想

私は、3rとか知らなくてペットボトルをすぐ買ったり、レジ袋をすぐ買ったりしていました。でもこの学習を通してこのままずっとそういうことをしたらこの世の中がゴミでいっぱいになってしまうことを知りました。調べただけじゃなくてこのように自分がまとめたことをみんなに伝えられる場を設けてもらってものすごく嬉しいです。私も意識してコンビニやスーパーに行く時にエコバックを持って行ったり、ペットボトルを買わず、マイボトルを持っていくなどしていきたいと思いました。

参考文献

「小学生のための環境リサイクル学習ホームページ

<http://www.cjc.or.jp/j-school/e/e-index.html>